

この1年、野木町が重点的に進めている

安全・安心のまちづくり

防災行政無線整備事業

災害の発生又は発生するおそれがある場合、町民の皆様へ災害情報の提供及び避難情報等の伝達手段として防災行政無線を整備しています。本年度においては、若林地区に拡声子局設備を設置します。

消防ポンプ自動車購入事業

町消防団第二分団の消防ポンプ車の老朽化に伴い、不測の故障を防止し、消防団活動が効率的に行えるよう消防ポンプ車の更新を行います。各種災害対応に安全かつ迅速に対応できるよう車両性能の保持に努めます。

逆川排水機場耐震補強等事業

水害に備えた機能の確保と強化を図り、現在の耐震基準に適合させるための耐震補強工事を行っています。併せて、電気・機械等の設備改修工事に向けた実施設計を行います。

川西地区水防拠点整備事業

近年、頻発激甚化する水害対策のため、川西地区内において水防拠点整備を行います。今年度は水防拠点となる盛土事業の一部と影響範囲である町道整備を国と連携し事業を進めていきます。

一級幹線5号線(若林)改良事業

野木中学校の北側から新幹線へ向かう道路(大字若林地内のS字カーブ付近)の道路拡幅、歩道整備を行います。交通の利便性の向上及び安全安心な道路整備のため昨年度に引き続き舗装や側溝整備を行います。

一級幹線6号線防護柵設置事業

南赤塚小学校の通学路でもある町道一級幹線6号線の改良事業として防護柵の設置や外側線等の路面標示の改修・改善工事を行います。

デマンドタクシー運行事業

ご利用したいときに電話でご予約いただくと、野木町内の「どこから」「どこへでも」お迎え、お送りする乗合タクシー「キラ輪号」を運行しています。

利用される方からのご意見を基に、利便性を向上させ、快適にご利用いただけるようデマンドタクシー全般のサービス向上を図っていきます。

新4号国道アクセス道路整備事業

野木駅前東大通りから、野木東工業団地の南側を通過し、1本の道路で新4号国道に繋がる道路の整備を古河市と協定を結び事業を行っています。早期に完成できるように、今年度も用地が取得できたところから順次工事を行っています。

少子高齢化対策

野木町総合サポートセンター事業

「野木町総合サポートセンターひまわり館」は、健康・福祉・介護・子育て・障がい・生活困窮などで困ったことや心配なことを相談できる総合相談窓口として、社会福祉士や保健師、生活困窮者自立相談支援員等の専門職員が皆様のご相談に対応致します。

現在は新型コロナウイルスの影響で利用制限をしておりますが、ひまわり館には、お茶を飲みながらくつろげる「ひまわりカフェ」、親子で楽しめる「子育て支援室」、健康づくりが出来る「フィットネスコーナー」などの施設があり、生きがいづくりや多世代間交流の場の提供、地域で活躍される方の人材育成講座を開催しています。

また、町民の皆様からご家庭で余っている食品を提供していただき、関係機関を通じて生活に困っている方を支援する「フードドライブ事業」を実施しています。

【子育て支援】

出産祝金支給事業

次世代を担う子どもの誕生を祝うとともに、健やかな成長を願い、出産祝金を支給しています。(支給要件あり)

こども医療費助成事業

0歳から18歳までの子どもに対する医療費の助成を行っています。なお、15歳までの子どもが県内の医療機関で受診した場合は窓口負担が0円となる現物給付を実施しています。

第3子以降小中学校等入学祝金事業

小中学校等へ入学する第3子以降の児童生徒の保護者に、児童生徒の健全な育成と町の活性化に資するため入学祝金を支給しています。

子育て世代包括支援センター事業 (産後ケア事業)

産後のお母さんは赤ちゃん中心の生活リズムになり、体調も大きく変わり、十分な支援が必要です。精神的にも不安定になりやすい産後間もない時期の健康保持や産後うつ病の予防、育児不安の軽減のために、利用料金の一部を助成しています。

【学校教育】

英語教育の充実事業

- ・ALT(外国語指導助手)を全小中学校7校に配置しています。幼児期からの英語力向上を図るためALTを幼稚園、保育園に派遣し授業を行っています。更に、公民館で町民向け英会話講座も行っています。
- ・野木町の小中学校に在籍している児童生徒の英語力及び学習意欲の向上を図ることを目的に英語検定3級の検定料の半額を補助しています。
- ・小学校英語教育の義務化による英語力の向上のため、英語力推進リーダーが全小学校を巡回し、教員への英語指導の支援を行っています。

スクールカウンセラー配置事業

拠点校(新橋小、南赤塚小)に配置したスクールカウンセラーが各小中学校を巡回し、児童生徒・保護者・教師の相談及びカウンセリングに対応しています。

学校図書館司書配置事業

「読書のまち」にふさわしい子どもたちの成長を図るため、全小中学校に図書館司書を配置し、町立図書館と連携して児童生徒の読書推進を図っています。

奨学金給付事業

様々な事情により就学困難な学生の大学等への進学を後押しし、社会に貢献できる人材を育成することを目的として、返済義務のない給付型奨学金を実施しています。

ICT整備事業

国が推進するGIGAスクール構想に基づき、全小中学校に配備したタブレットに学習支援ソフトを導入し、学習活動の充実を図っています。また、児童生徒がタブレットを円滑に活用できるよう授業環境や操作等の支援を行っています。

【健康・高齢者福祉】

軽度生活援助事業

ひとり暮らし等で日常生活に不便を感じている高齢者を対象として、室内清掃や洗濯等の生活支援の費用の一部を助成しています。

高齢者通院時タクシー等利用助成事業

70歳以上の高齢者を対象に、町外の医療機関へ通院するため、自宅から医療機関までタクシーを利用した際のタクシー料金の一部を助成しています。

ふれあいサロン事業

高齢者が地域の中で生きがいを持っていきいきと元気に暮らせるように、15か所の会場において、交流や趣味活動、健康づくり等を行うサロンを実施しています。また、フレイル予防のため専門職による健康指導も行っています。

安全・安心見守りネットワーク事業

高齢者や障がいのある方など、日常的な見守りが必要な方や災害時に支援の必要な方を地域で支えるための事業です。要支援者(見守られる人)と見守り協力員(見守る人)の登録を推進し、地域ぐるみの活動ができるように体制を整えていきます。

健診事業

定期的な健診は、病気の早期発見・早期治療にたいへん重要であるため、毎年、生活習慣病健診を行っています。肺がん・大腸がん検診の自己負担額の無料化、医療用ウイッグ購入費の一部助成を行っています。

スポーツレクリエーション事業

スポーツやレクリエーションを通じて健康増進を図るため、各種スポーツ関係団体と連携し、講習会や教室等を開催してスポーツやレクリエーションに参加する機会の提供や、関東・全国大会等の出場者に補助金の交付をしています。

いちご一会とちぎ国体事業

来年度、栃木県を舞台として「いちご一会とちぎ国体」が開催されます。野木町では野木中学校体育館を会場に、正式競技のハンドボール、デモンストレーションスポーツのバウンドテニスが実施されます。

今年度はハンドボール競技のリハーサル大会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催できませんでした。なお、大会開催に向けて、個人や団体によるボランティア及び協賛を随時募集していますので、皆様のご協力をお願いします。

町の活性化策

【市・町間連携】

近隣自治体との広域的連携の推進

野木町では、「小山地区定住自立圏形成協定」に参画する小山市・下野市・結城市や、「関東どまんなかサミット会議」に加盟する古河市・加須市・栃木市・小山市・板倉町など、隣接する自治体と

各種協定を結び、自治体の合併によらない広域的な連携を強化しています。公共交通や公共施設の利便性向上、各種住民サービスの更なる充実と深化を目指して様々な分野において協議をすすめており、今後も構成自治体全体での機能性向上や地域の活性化、更により効率的な行政運営などを推進していきます。

【移住・定住策】

定住促進補助事業

町内に新たに住宅を取得された方を対象にした「野木町定住促進補助金」の交付をしています。

また、野木町を知っていただくため、移住パンフレットを町外の方が訪れる場所を中心に配布するとともに、県が主催しているオンライン相談会へ参加しています。

空家等対策補助事業

町内全域を対象にした「空家等実態調査」を行い、空き家の利活用や管理指導を行うとともに、空き家バンクの周知と登録物件を対象とした「リフォーム補助金」の交付を引き続き行っていきます。

また、不動産無料相談会の定期開催、広報等による空き家管理方法の周知など空き家問題の解決に繋がるような対策を推進しています。

【協働のまち】

花と緑いっぱい運動事業

道路や公園等の公共施設に草花を植栽するボランティア団体等と協力し活動を行うことで、「協働のまちづくり」を推進するとともに、花と緑に彩られた潤いのある美しい景観を形成することにより、町全体のイメージアップを図ります。

また、2022年のいちご一会とちぎ国体に向けて、競技会場や町を花で飾り、選手や全国から訪れる方々を歓迎する花いっぱい運動事業にも繋げていきます。



【リサイクルのまち】

ごみ出しサポート事業

家庭ごみを出すことが困難な高齢者や障がい者を対象に、家庭ごみの戸別収集と声かけによる安否確認を行っています。

【農業振興】

農業経営安定化事業

町の基幹産業である農業、その中でも生産面積が一番多い水稲について、担い手の生産意欲向上と農業経営の安定化を図るため、水稲作付面積に応じて集落営農組合等へ補助を行っています。

農業次世代人材支援事業

農業従事者の減少や高齢化が進展する中、次世代の農業を担う新規就農者に対して、就農後必要となる費用の一部補助を行っています。

【工業団地整備の推進】

企業誘致奨励金事業

企業誘致を促進し、産業の振興と雇用機会の拡大を図ることを目的とし、新設又は増設した事業所の施設設置や雇用促進等に対する費用を奨励金として補助します。

【観光振興】

野木ブランド認定事業

令和3年3月には6品が更新され、現在17品がブランド品として認定されています。町ならではの優れた魅力ある製品による付加価値の向上と、町のイメージアップ、地域経済の活性化を図るため、野木ブランド認定事業を実施しています。

観光・イベントの開催(通年)

夏の「ひまわりフェスティバル」は、今年度で30回を迎えました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、模擬店の出店は行わずひまわりの景観のみ観賞いただき、歌謡ショーはエニスホールで町民限定の開催となりました。

コロナ禍ではありましたが、ひまわり畑には、多くの方が訪れました。

なお、冬の「駅前イルミネーション」は、開催に向けて町観光協会と準備を進めていきます。

【文化振興】

公民館講座等開催事業

公民館では、子どもから大人まで誰もが気軽に学習機会を得られるよう、様々な公民館講座等及び各ボランティア団体との協働講座を開催しております。

今後も町民のニーズに沿った多様な学習機会を提供できるよう、努めていきます。

交流センター講座等開催事業

交流センター(野木ホフマン館)は、観光と学習・地域振興の拠点施設として平成28年5月の開館以来、来館者数は20万人を超え、交流センターとその付属施設である「野木町煉瓦窯」と「体験学習施設」を活用し、町内外から多くの世代や地域を越えた交流の場として親しまれています。

野木町煉瓦窯や渡良瀬遊水地の自然など魅力ある歴史・自然環境の中で、子どもから高齢者まで誰もが気軽に学習機会を得ることができる様々な講座等を開催し、地域の賑わいづくりや元気創出、地域創生に寄与できる施設を目指していきます。

文化会館自主事業

開催可能な事業として、映画会のほか、今年度からピアノトライアルの派生事業であるEnjoyピアノを実施しています。また、多くの方にエニスホールをより身近に感じてもらうために、昨年度からエニスホール館内見学ツアーを開催しています。

今後も文化振興を担う施設として、多様な優れた文化芸術に触れる機会を提供し、多くの方々に来ていただけるような、親しまれる文化会館を目指していきます。

新型コロナウイルス感染症の影響により中止になった事業

- ・全町避難訓練事業
- ・健康タウンのぎ測定会
- ・野木町産業祭事業
- ・煉瓦窯関連イベント関係